

垂れ流しトイレの撤廃

1968年（昭和43年）8月14日の第88回業務運営会議で「大都市発着または通過列車の便所使用制限方法と、汚物処理装置の地上設備の設置方法との検討を急ぐ事」との通達を出しました。

これを受けて8月22日には「列車トイレット改良の基本方式」として

イ、車両には汚物を貯留して基地に戻ってから処理をする循環方式を採用する。
ロ、地上設備における処理方式、規模、市町村側との関連調査、等を実施する。
ハ、粉砕式の今後の処置を検討する。

ニ、都市部での便所の使用制限を実施する。

ホ、さしあたり東海道線、山陽線から実施する。

また同年8月29日の「列車トイレット改良研究会」では

・車両の改善と取り付けは改造の難易により

A、大改造を要する〔気動車〕

B、便所を移設すれば可能なもの（旧形客車）

C、比較的改造容易なもの〔電車、軽量構造の客車〕の3ランクとする。

・新車についてはタンクを取り付ける。

・食堂車には従業員用なので汚物処理装置は設けない。

・既存車両については汚物処理装置が完備されるまでは応急対策として、汚物の飛散防止を緩和する目的で流し管にオオイを設ける。

・長距離団体用として、創価学会用と修学旅行用を、汚物処理装置の取り付け対象車両とする。

等を決定いたしました。



写真 20. 交通科学館模型のキハ 181 破壊式

07.2.14



写真 21. 交通科学館模型のキハ-2 流し管

07.2.14

1968年〔昭和43年9月3日〕の常務会で総額800億円のプロジェクトにより、新幹線に使用した循環式の汚物処理装置の取り付けを行う。対象車両は利用頻度より 夜行の特急急行 昼の特急急行 長距離団体用とする。これら車上

設備の改良に350億円、地上設備の新設に450億円で、総額800億円となる巨額のプロジェクトでした。

1969年〔昭和44年〕度には京都の向日町、大阪の宮原、東京の品川の3基地に地上設備を設置し、気動車特急「白鳥」「かもめ」列車急行「銀河」「きたくに」などに循環式を取り付ける。また昭和45年度には田町、南福岡に地上設備の工事を着工するなど各地で車上設備や地上設備の工事が始まりました。

1981年〔昭和61年〕度末の集計では地上設備は40基地に整備され、汚物処理装置取り付け車両は5,350両にまでに達しました。つまり、国鉄が分割民営化される直前の時点で、全汚物発生量の75%が衛生的に処理できるようになりました。

表2. 在来線污水处理施設一覧

鉄道ピクトリアルNo.649より

| 基地名 | 処理方法 | 使用開始 | 基地名 | 処理方法 | 使用開始 |
|---------|-------|---------|-------------|-------|---------|
| 札幌運転区 | 下水道放流 | 1982. 2 | 松本運転所 | 下水道放流 | 1986.11 |
| 苗穂機関区 | 下水道放流 | 1984.11 | 長野第一運転所 | 下水道放流 | 1978.12 |
| 釧路運転区 | 下水道放流 | 1982. 2 | 静岡運転所 | 下水道放流 | 1986.10 |
| 函館運転所 | 下水道放流 | 1984. 2 | 大垣電車区 | 下水道放流 | 1983. 4 |
| 青森運転所 | 河川放流 | 1980.11 | 神領電車区 | 河川放流 | 1982.11 |
| 盛岡客貨車区 | 下水道放流 | 1983.12 | 金沢運転所 | 下水道放流 | 1975. 5 |
| 秋田運転区 | 下水道放流 | 1976. 4 | 京都電車区高槻派出 | カセット | 1986. 3 |
| 仙台運転所 | 下水道放流 | 1978.10 | 網干電車区 | カセット | 1986. 3 |
| 上沼垂運転区 | 河川放流 | 1976.10 | 向日町運転所 | 下水道放流 | 1979.10 |
| 新前橋電車区 | 下水道放流 | 1985. 3 | 宮原客車区 | 下水道放流 | 1972. 1 |
| 勝田電車区 | 下水道放流 | 1985. 3 | 日根野電車区 | 河川放流 | 1979. 3 |
| 幕張電車区 | 河川放流 | 1972. 7 | 福知山運転区福知山支所 | 下水道放流 | 1986.11 |
| 小山電車区 | 下水道放流 | 1987. 3 | 出雲運転区 | 河川放流 | 1982. 7 |
| 東大宮車両基地 | 河川放流 | 1979. 4 | 岡山運転区 | カセット | 1987. 1 |
| 尾久客車区 | 下水道放流 | 1984.12 | 広島運転所 | 下水道放流 | 1983. 4 |
| 田町電車区 | 下水道放流 | 1983.10 | 下関運転所 | 下水道放流 | 1978.10 |
| 東京運転区 | 下水道放流 | 1975. 4 | 高松運転所 | 下水道放流 | 1981.12 |
| 大船電車区 | 河川放流 | 1979.10 | 南福岡電車区 | 下水道放流 | 1980. 5 |
| 国府津電車区 | 下水道放流 | 1986.10 | 熊本客貨車区 | 下水道放流 | 1986.11 |
| 甲府運転所 | カセット | 1986. 3 | 鹿児島運転所 | 下水道放流 | 1985.10 |

現状では垂れ流しの車両は1台もなく汚物は全て循環式タンクに貯留され車両基地で処理されるか、下水放流で処理されています。資料は古いですが1987年3月31日現在の国鉄在来線污水处理施設一覧表〔鉄道ピクトリアNo.649p.51より〕を示します。



写真 22a. 最新の列車トイレ、徳島駅での
気動車特急うずしお N2000 06.1.30



写真 22b. N2000の循環式タンク
06.9.30



写真 23a. 最新の列車トイレ、豊岡駅での
183系特急きのさき 06.10.7



写真 23b. 183系の循環式タンク
06.10.7

お蔭様で鉄キチたちも今では安心して列車の写真が撮る事が出来ます。今、昔懐かしい蒸気機関車が復活再整備されて、日本の各地で運転されております。昨年私が撮りました鉄道写真をお楽しみください。



写真 25a. 磐越西線喜多方 山都
を行く SL ばんえつ号
06.10.22



写真 24. 最新の列車トイレ、倉吉駅を
発車した下り特急寝台出雲
06.2.4



写真 25b. 秩父鉄道武州中川 浦山口を行く
下り SL 06.4.16



写真 25c. 山口線上郷 仁保津を行く SL 山口号
06.8.18



写真 25d. 山口線仁保津 大歳を行く
上り気動車特急スーパーおき
06.8.19



写真 25e. 真岡鉄道茂木 天矢場を行く
上り SL もうか号
06.12.17